

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	11 月	22 日	記入者	春日由広
調査者名	小倉	春日	仲谷	安川	

文化財名	大川(おおこ)遺跡				
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ( )
指定年月日	1990年(平成2)3月9日				
所在地	山辺郡山添村大字中峰山1736番地				
所有者 管理者	水資源機構				
員数					
時代区分	縄文時代				
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	有り				
公開	現在は「カントリーパーク大川」として史跡公園になっている。				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 (「カントリーパーク大川」として公園化されている。)				
当面の課題	特に無し。現在、大川遺跡は「カントリーパーク大川」として公園化され、バーベキューやキャンプ場として利用されている。園内の受付館に、出土した大川式土器や石器パネルが展示され園内に竪穴式住居が復元されている。遺物は山添村歴史民俗資料館、橿原考古学研究所附属博物館、同志社大学歴史資料館に展示されている。				
今後の課題	公園内での大川遺跡の情報発信の拡大を期待する。公園内は整備され気持ちよく自然を満喫することが出来る。キャンプ目的の訪問者にも、縄文時代の人々の生活感を感じられるような遺跡となることを希望する。				
その他 (由緒など)	名張川の河岸段丘上にあつて、縄文時代の早期(約8000年前)の住居跡や集積炉が確認されている。この遺跡から発見された土器は、彫刻した棒を使って表面に模様をつけた押型文土器で最も古い段階の標準資料として「大川式土器」と呼ばれている。石器は石鏃や石錐、尖頭器石器が多数出土し、それらの遺物は歴史民俗資料館に展示されている。				
コメント	縄文時代の遺跡は近畿で珍しく、これまでの調査で、縄文時代早期の押型文土器(大川式)や、焼き石を利用した調理場と考えられる集積遺構が発見されている。住居内で炉跡が発見されていないので、住居跡付近で検出された集積遺構は屋外炉の性格が強いと想定されている。縄文時代の人々も同じ場所に居たと思えば、数千年の時代の長さを感じる。今後も、遺跡(カントリーパーク大川)に訪問した多くの人に、縄文時代の土器や人々の暮らしを知ってもらいたい。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020年	11月	22日	記入者	春日由広
調査者名	小倉	春日	仲谷	安川	

文化財名	大川(おおこ)遺跡
------	-----------

説明板	カントリーパーク大川の説明板
-----	----------------



縄文時代の暮らしの説明板	竪穴式住居
--------------	-------



受付館	大川式土器	カントリーパーク大川の全景
-----	-------	---------------

